

かおる通信

議会報告

No. 8 1

2017年1月

(連絡先)

我妻かおる事務所

宮城県遠田郡美里町青生字新鳴瀬172
TEL. 0229-33-2637
FAX. 0229-33-3320
Eメール. w-kaoru@luck.ocn.ne.jp

汚染物質の焼却処分に不安



海外には大盤振舞い、国内の福

美里町議会議員

我妻 薫

アメリカのトランプ大統領誕生をはじめ世界は混沌とした不安定な新年を迎えましたがお元気ででしょうか。
南スーダンに新任務を帯びて派遣された自衛隊の報告しますので、今回も「議会だとも気になる」ところです。
十二月会議の一般質問を中心に「より」と合わせてお読みいただければと思います。

社などには大なたを振るう政治に怒りを覚えます。あきらめず地方から平和、人権、福祉を訴え続けたいと思います。

問 放射能汚染物質の処分では国のデータしかないというが、国のいうことに疑問を持つ学者は多い。きちんと問いただす姿勢が必要と思うが。

答 真剣に調べ、町民説明会に対応する。

問 酸素もつき抜ける。微小粒子に入るセシウムは気体になったままバグフィルターを通過してしまうことの検討も求めるべきである。

答 県、さらには国も確認し考えていく。

問 焼却施設のピット内で攪拌された放射性物質が搬入口から出てこないという保証はない。一般町民が浴びる危険性もあるのではないかと。

答 バグフィルターから出たものが施設の境界地の中にとどまっていると考えられるか。

問 最終処分場の地権者との覚書には、セシウムとか放射性物質は含んでいないと思うが。

答 その点については確認をさせていただきたい。

問 仮に焼却処分するとしても、かなりの年数がかかる。その間の稲わら等、汚染物質の安全な保管策を国、県、東京電力に再度強く求めるべきと思うが。

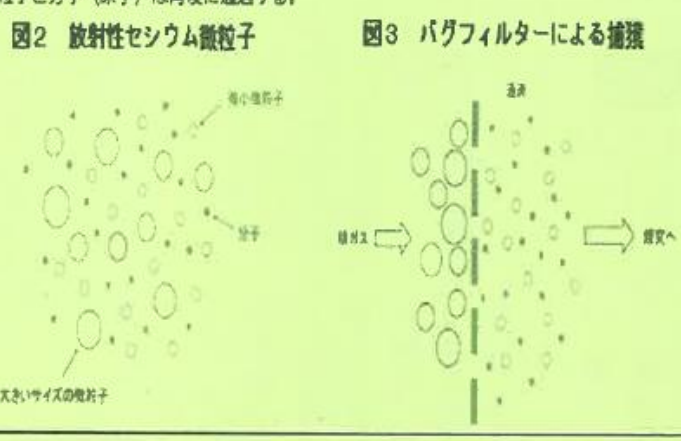
答 町としても、今後強く要望していく。

99.9%除去に疑問

環境省が言う「バグフィルターで99.9%が除去される」には多くの学者・研究者たちが疑問を投げかけています。琉球大学名誉教授の矢ヶ崎克馬氏の指摘を図の解説とともに紹介しておきます。

「もともとバグフィルターで捕捉できる大きなサイズの微粒子に限って集塵機で捕捉したものの計測した除去率。集塵機で捕捉できるサイズの多きな微粒子は99.9%捕捉できるが、バグフィルターから背後に逃げた微小粒子と気体は全く捕捉できていない。この方法でバグフィルターのセシウム除去率を求めることはできない。」

図2はバグフィルターに入る前の放射性セシウムの微粒子や分子(原子)のサイズには分布があることを示す。図3はバグフィルターによる粒子の捕獲を示す。微小粒子と分子(原子)は背後に通過する。



東部クリーンセンター、水蒸気は常に出ている

公立高校入試の見直し

問 県教育委員会が公立高校入試制度をめぐって実施したアンケート結果が新聞報道された。本町の中学校現場では現在の入試制度をどのように捉え、教育委員会ではどう検討されているか。

答 前期選抜の結果により自信を失った生徒の心理的負担が大きくなり、入学したい学校から入学できる学校に進路変更する傾向が見られるとか、前期選抜から2次募集の結果が出るまで入試事務が長期化し、教職員の業務に支障を来すことがあるなど、制度の見直しを希望する声が上がっている。教育委員会では、現段階では特に検討していない。

問 目的意識の明確化あるいは主体的な進路の選択などにつながる試験制度と県教委はやってきたが、どう考えるか。

答 必ずしもそうなっているとは思えない。
問 県の選抜審議会

で選抜のあり方が審議されているが、町の教育委員会から意見反映はできるのか。

放射能の危険を直視すべき

問 6月の会議で放射能問題を考える参考としてDVD「チェルノブイリ・28年目の子どもたち」というものを紹介したが、活用されたか。

答 教育委員長、教育長、教育次長及び担当職員で順次視聴した。

問 感想を聞きたい。

答 普通の体育授業ができるグループ、時間を限った授業、授業に参加できず見学だけと分かれるというところが何十年後に出てく

答 審議会には教育長の代表者、校長会の代表、PTAの連合会の役員の方々が入っているが、教育長部会として調査とかそういったところまではない。

ることにショックを受けた。

問 お父さん、お母さんたちが子どもの頃に被爆した、その子供たちの姿である。放射能の恐ろしさをきちんと受け止めて教育の中心で反映してほしい。

答 教育委員会会議の後、教育委員と観て活用について話し合いたい。

福島原発事故の健康被害

昨年12月27日に公表された福島県健康調査を基に「福島原発の真実と放射能健康被害」が作成されたものが左下の内容でアップされています。

「先行検査」は事故当時福島県内に住んでいた「18歳以下だった子供達」約36万人を対象に2011年度、2012年度、2013年度の3年をかけて実施されたもの。「本格検査」は、原発事故後の約1年間の間に福島県内で生まれた子供達も対象となる約38万人で、2014年度、2015年度の2年にかけて実施されたものと説明されています。

福島原発事故前まで日本における小児甲状腺がんは年間100万人に0.3人で推移してきましたが、今回の調査では年間100万人に301.401人と1000倍を超える小児甲状腺がんが見つかったことになるといわれています。

た男の子（8回の手術を受け、さらに毎年新たな病気が見つかった）の両親はチェルノブイリ事故によって甲状腺の異常が見つかったことになりました。上の2人の娘たちも含め子供達に影響が出ているというのです。

【編集後感】
○「今年はトランプに始まりトランプに終わる」と言ったジャーナリストがいます。
●確かに、TPPは発行が難しくなりました。しかし、「二国間協議」の中で「アメリカ第一」で押し通してきたら、安倍政権は、対等に渡り合えるか、はなはだ疑問に感じます。



昨年6月23日に放映された、BS朝日の「チェルノブイリ30年その現実」においても、歌手クミコが目のあたりにした「過酷な現実」が映し出されていました。日本のテレビとしてはよく放映したと思います。

後の「本格検査」で見られた68人のうち62人は、「先行検査」では「問題なし」のA判定された子供達であったというのです。つまり、一〜三年で新たに甲状腺がんが発病した可能性があるということになります。

福島県小児甲状腺がん検査まとめ(2016年9月30日現在)

甲状腺癌及び疑い					
184人					
先行検査			本格検査		
116人			68人		
手術前	手術後		手術前	手術後	
	102人			44人	
14人	乳頭癌	低分化癌	24人	乳頭癌	低分化癌
	100人	1人		43人	0人
	その他の癌	良性結節		その他の癌	良性結節
	0人	1人		1人	0人

作成：福島原発事故の真実と放射能健康被害★
<http://www.sting-wl.com/fukushima-children11.html>

○ 農業だけではなく、医療制度など多くの生活に直結する課題が、アメリカ型に押し切られ、「いちのち」が軽んじられてしまうのではないかと心配です。
● 在日アメリカ軍の費用負担増、アメリカ軍の代わりに外国での軍事行動、等々を要求されたらどうするのか。憲法9条などが改悪されてしまえばはねつける後ろ盾もなくなってしまう。正念場です。